

事業所名		ほみいくらぶ だて				公表日	令和8年2月2日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員に対し、指導訓練室のスペースが適切であるか	○				
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか	○				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化や環境上の配慮が適切になされているか	○				
	4	送迎中の乗車や降車の際に車内の確認や消毒を徹底して行っているか	○		・安全計画に基づいて実施している		
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか	○		・状況に応じた対応が出来る環境になっている		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			・支援内容に対するPDCAは常にしているが、職員の業務改善に関しては改善が必要	
	7	保護者等向け評価表を活用しアンケート調査を実施し保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	○		・HPにて公表している ・評価表を基に、振り返りや改善策を講じる機会を設けている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	○			・もっと必要だと思う	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか	○		・定期的な研修を実施している		
支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか	○				
	12	子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	○				

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	13	個別支援計画を作成する際には児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか	○			
	14	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか	○		・個別支援会議を通して共有をしている	
	15	子どもの適応行動の共有を評価するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	16	個別支援計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・児童の成長に必要なプログラムを都度考え、構成している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・その時の児童の課題に合わせて療育内容を考え、提供している ・マンネリ化しないようなメニューを提供している	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて個別支援計画を作成し、支援が行われているか	○		・17と同じ	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか	○		・ミーティング時に確認。急な変更にも対応できる支援者が揃っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・ミーティング時に必ず行い、共有もしている ・支援後ではなくミーティング時などに報告や話し合いをしている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・個別記録に、日々の様子を出来る限り詳細に載せている	
支援の継続性	23	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか	○		・記録や児童の様子、他の指導員から情報を集め、適切に行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの4つの基本活動(自立支援と日常生活の充実のための支援、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供)を複数組み合わせて支援を行っているか	○			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか	○		・自己選択が苦手な児童に対し、複数の選択肢を与え、自己決定を促す方法をとっている	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか		○		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか	○		・夏祭りで受け入れの機会を作っている ・水曜の体育館は、共有しながら活動できるようにしている	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか	○			
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか	○			
	38	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか	○			
	40	保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか	○		・毎年11月に交流会を実施している	
	41	子どもや保護者からの苦情について対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・苦情はなかった	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
非常時等の対応	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか	<input type="radio"/>			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか	<input type="radio"/>			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	<input type="radio"/>			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	<input type="radio"/>		・法人行事として夏祭りを開催している	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	<input type="radio"/>			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	<input type="radio"/>			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	<input type="radio"/>		・契約時に確認している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	<input type="radio"/>			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分になされた中で支援が行われているか	<input type="radio"/>			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか	<input type="radio"/>			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか	<input type="radio"/>			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	<input type="radio"/>			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	<input type="radio"/>		・現在、身体拘束を実施する可能性のあるケースがない	